

## 6/5 団交報告

本日、神戸国際会館会議室にて、団交しました。今回会社側は浜野、西井、五條、森永、上月、岡本、村上の各氏。組合からは7名が出席しました。冒頭、東委員長の勤務時間変更問題について、会社は「遅刻届の提出は必要なく、すでに行われている勤務時間変更を認めようということになった。」と言い、組合もこれを受け入れました。夏季一時金は、団交直前と団交内で以下の回答がありました。

支給総額 117516224 円(昨年比 2,119,860 円増)

期間満了者 151 名平均 766,193 円、総額 115,695,112 円、特別支給額 598,5333 円

総合職 112 名平均 840,071 円、一般職 29 名平均 503,391 円、旧制度 10 名平均 700,881 円、

月数	最高	平均	最低
総合職	3.12	2.42	1.50
一般職	2.33	2.14	1.69
旧制度		2.1	
全社員		2.36	

特別支給の内容は例年とほぼ同規模で、役職者に 125,000(部長)～25,000(主任)円、その他部課長推薦、代表特別の内容だそうです。会社は、「収益 3 割減と既存校ベースで室生 141 人減、新設校増設校の家賃が下期 3,000 万円増に加え、元町、上本町、堺東で家賃の値上げを求められている」などを理由として挙げてきましたが、組合からも「生活必需品を中心に物価高騰が心配される折、一層の配慮をお願いしたい」と上積み検討を申し入れました。前回の団交で、会社が、旧制度選択者の賞与について不利益があったので、平成 18 年夏までさかのぼって調査し、総額 435,688 円追加支給するとしていた点については、「金額の計算がまちがっており、総額を 351,188 円に訂正したい。」との提示があり、説明を聞いてもよくわからず、詳細な説明を本人にわかるようにするとともに、組合にも再度説明することになりました。前回返還を求めないとした、96,373 円とあまりにも近い金額の変更に疑惑が残ります。きちんとした説明が求められます。

## TCS 労働者代表に

# 増村満男さん(社会)

をよろしく申し上げます。

いわゆる「3年後問題」まで、あと少しとなりました。このような重要局面を迎えて、今回は組合公認候補として、常に会社との交渉の先頭に立ち、人望もあつい、社会科講師の増村満男副委員長を擁立することにしました。

増村氏はこれまで日能研労働組合執行委員として、最前線に立って非常勤講師の労働条件改善に尽力してきました。

ぜひとも、増村満男氏が勝利するよう、身の回りの講師、TCS 契約社員の方々に投票依頼(無記名郵送による投票ですので、誰が入れたかバレることもなく、不利益は一切ありません)の呼びかけなどのご支援をよろしく申し上げます。